

中1理科 水溶液の性質 第3回 溶解度と再結晶①

講師：山崎 翔平

<学習内容>

- ▶物質を水に溶かす
- ▶溶解度
- ▶溶解度曲線

物質を水に溶かす

■物質が水に溶ける量

水に食塩を入れると溶ける。

⇒食塩は際限なく水に溶け続けるわけではなく、限界がある。

■温度変化と溶ける量の変化

お湯などに食塩や砂糖を入れると溶けやすくなる。

しかし、冷たい水にはあまり溶けない。

⇒水などを温めると物質が溶ける限界量が増える。

溶解度

■物質が溶けることができる限界量

水に物質を溶かし、それ以上物質が溶けなくなった水溶液を**飽和水溶液**という。

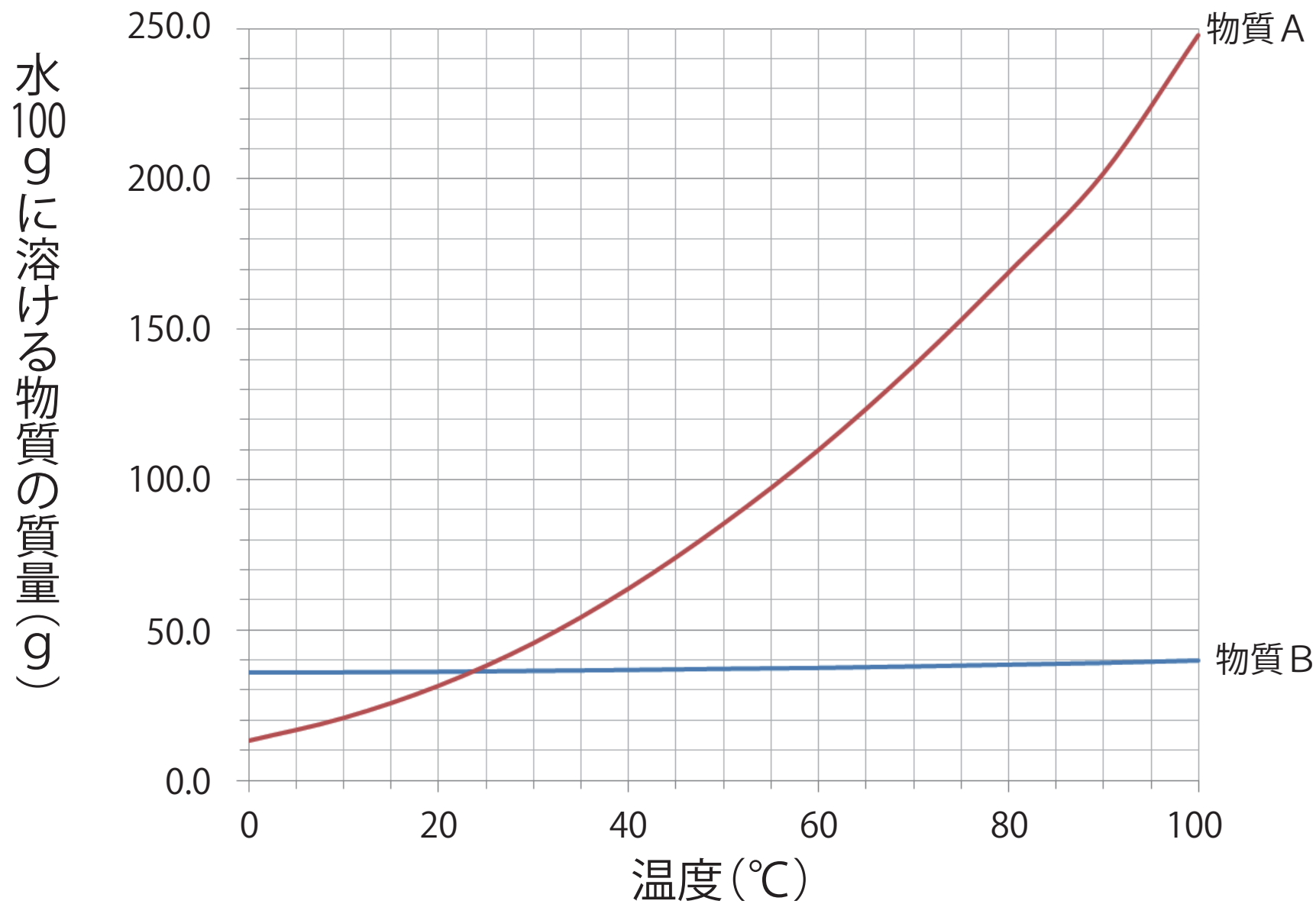
溶媒（水など）100g に物質が溶ける限界の質量を**溶解度**という。

⇒溶解度は物質によって決まっており、溶媒の温度で変化する。

⇒この変化をグラフにしたものを**溶解度曲線**という。

※溶解度曲線は次回詳しく取り扱う。

溶解度曲線



基本問題

下記の問いについて答えなさい。

- (1) 水に物質を溶かし、それ以上物質が溶けなくなった水溶液を何というか。
- (2) 溶媒（水など）100g に物質が溶ける限界の質量を何と
言うか。

(1)	(2)
-----	-----

四択問題

ア～エの中から正しい説明をしているものを選びなさい。

- ア. 混合物の中には 1 種類の物質のみでできているものもある。
- イ. デンプンなどの固体を水に溶かしたものを水溶液という。
- ウ. 溶液の重さと溶媒の重さを加えると溶質の重さになる。
- エ. 水溶液はどの部分も濃度は均一になる。